

川柳アート

選者 川柳アート
八木健(月刊川柳総合誌
「川柳マガジン」三元選者)

91

特選



松友順三

燃える夏なんでもかでも甲子園

松山発「俳句甲子園」は十四年前に誕生。その翌年には朝日新聞の「俳句甲子園」があった。高校野球を題材にした句を全国募集したのだった。以来、続々甲子園。
松友 順三(松山市)



藤原白男

出来ちゃった
喜ぶ人と
嘆く人

出来ちゃった喜ぶ人と嘆く人
出来ちゃった婚が当たり前になって久しい。嘆くのは誰か? 子授け神社です。出番を失い手持ち無沙汰というわけ。
藤原 白男(今治市)

佳作



武井基次

乾杯とひとこと言えばすむものを

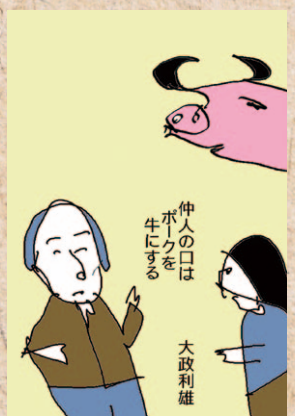
乾杯とひとこと言えばすむものを
「乾杯のお酒蒸発してしまおう」「長々と下手な挨拶嫌われる」「ぶん殴つてやりたいほどの長談義」。一休みして戻ると、同じ人がまだしゃべり続けている……。
武井 基次(松前町)



加賀山一興

中台が魚釣島を釣りにくる

この扮じゃ本州も狙われかねない。領土を掠め取ろうとする国をあげての誤った情熱は、どのようにして生まれるのだろうか。
加賀山一興(宇和島市)



大政利雄

仲人の口はボークを牛にする

仲人の口はボークを牛にする
昔から「仲人口」という奴ですね。針小棒大誇張歪曲年齢詐称です。すると、「十人並み」は「かなりひどい」ということ。
大政 利雄(松前町)



村田節子

歩道橋渡れば遠い目的地

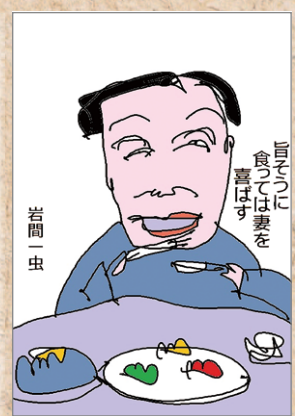
歩道橋は車優先思想の象徴。恥の文化史として記憶しておきたい。歩行弱者にはもちろん、健常者にも大変。歩道橋じゃなく拷問橋ですね。
村田 節子(八幡浜市)



前田重信

引張つてみても放すと戻る皺

引張つてみても放すと戻る皺
簡易美容整形ですか。やはり、多少、お金かけないと無理じゃないですか? 皺も味わいのある年輪なんだと、自分自身騙しなさい。
前田 重信(愛南町)



岩間一虫

旨そうに食つては妻を喜ばす

旨そうに食つては妻を喜ばす
ということは、それほどでもない。褒め過ぎると同じものが毎日出てくる。極端な場合、昨日の残りをチン、「あなたの好物よ」てな具合。
岩間 一虫(東温市)

ひろば DEC.

11月季節

さゆり (松山市・62歳)

若い頃、花嫁修業として、近所のおばあさまのところへ茶道を習いに行っていた。その方は若葉が輝く5月頃になると「いい季節になりましたね。いい季節はほんのわずかですよ」。10月の木々が少し色づく頃には「いい季節になりましたね。すぐ寒くなりますよ」。そして「人の一生もいい季節はほんのわずかで、すぐ過ぎ去っていくものよ」とおっしゃっていた。今までも、その言葉を思い出すことはあった。でも近頃つくづくその通りだと感じる。輝く日があったことを幸福に思い、これからの毎日を大切に生きていこう。

娘

ひかり (東温市・38歳)

毎日毎日家事、育児に追われている主婦の私。専業だけれど、そんなに甘くない。時々、娘の行動にいららさせられることも。思わず口やかましく言ってしまう。おてんばでおしゃべりな娘だけれど、あいさつや「ありがとう」など、きちんと言ってくれる。娘の一言で、私のトゲトゲとした心が一気に癒やされる。

父の生命力
親はいつも元気でいてくれるもの。そう思っていたけれど、突然、父にガンの診断。父の背中を見ていると、涙がこぼれた。もつと弱い人だと思っていた。でも涙も見せず、前向きに治療に向かっている。その生命力に父は大丈夫だと感じている。近くにいる私はできるだけサポートしていこう。それが恩返しだと決めて。
トット (松山市・43歳)

お便り募集

○川柳
テーマは自由。未発表のオリジナル作品に限ります。採用された作品には選者・八木健さんが切り絵やCGを使った「川柳アート」を作り、本誌に掲載の上、採用者にプレゼントします。
○ひろば
エッセーなどを募集しています。テーマは自由、200字以内。誌面の都合上、原稿を割愛、修正する場合があります。ご了承ください。

ください。採用の方には、1,000円分の図書カードをお送りします。
川柳とひろばのあて先は下記の通りです。住所、氏名、電話番号、性別、年齢をお書きください(ペンネームも可)。必ず氏名を記入してください。
※ご応募いただいた個人情報、適切に取り扱います。
〒790-8511 松山市大手町1丁目12-1
アクリート編集室 通信係
Eメール accrete@enp-sc.jp